

京都岩倉実相院

拝観時のお願い

Photographing inside is strictly prohibited.
You may take photographs of the garden
from the terrace.
The images can be used only for non-profit
purposes.

お参りいただく本建物は旧御所の客殿です。
文化財の保護のため、以下の注意事項を守り
ください。

建物内部の撮影および内部からの撮影は固くお
断りしています。また、三脚などの持ち込みはでき
ません。

動画は一切禁止です。

なお営利目的の撮影は禁止です。

他の拝観者にお心配りをいただき、マナーの良い
お詣りをお願いします。
お子様をお連れの方は充分ご注意ください。



東山天皇の中宮 承秋門院ゆかりの

実相院門跡

京都市左京区岩倉上蔵町121 TEL. 075-781-5464

【拝観時間】 AM9:00～PM5:00

【拝観料】 大人500円 小・中学生250円



実相院の歴史

実相院はもと天台宗寺門派の門跡寺院である。現在は単立寺院、不動明王を本尊とする。寛喜元(1229)年、近衛基通の孫・静基(じょうき)権僧正を開基とし、紫野(現在の北区)に創建された。いちど五辻通小川(京都御所より北西)に移転したが、応仁の乱(1467~77)が激になると、当時管理していた岩倉に移った。その後しばらく厳しい時代が続いたが、江戸時代初期足利義昭の孫・義尊の時代、母(三位の局)が後陽成天皇に仕えて道晃法親王(聖護院門跡)を儲けたことから、天皇家とゆかりは深まり後水尾天皇や東福門院たちが岩倉にしばしば御幸に訪れるなど華やかな時代を迎えた。その後皇孫の入室が続き、享保5(1720)年には東山天皇中宮・承秋門院の大宮御所の建物を賜った。今日まで伝わる四脚門・車寄せ・客殿は、女院のお住まいとしての王朝建築美のなかにも風格あるたたずまいをみせる。上段の間など各室には江戸時代中期に活躍した狩野永敬はじめ狩野派の襖絵がめぐらされ、現存する数少ない女院御所である。

Jisso-in Temple

For generations, the nobility related to the Imperial Family served as head priests of Jisso-in Temple. The temple buildings were received from Kyoto Imperial Palace 280 years ago and are valuable structures. Jisso-in Temple has many superb partition paintings. They were created by artists of the Kano school, a style that became the foundation of Japanese painting.

実相院

実相院为历代皇族子弟出家当住持的寺院。整个建筑是280年前由皇宮賜予的，极为珍贵。院内收藏着很多最终成为日本绘画基础的狩野派画师们绘制的日式隔扇拉门画的珍品。

じそいん(実相院)

代대로 천황가와 인연이 있는 사람이 주직을 맡았던 격식 높은 문제키(門跡) 사원. 건물은 280년전에 조정에서 하사받은 귀중한 것. 원내에는 일본화의 초석이 된 가노(狩野)파 화가들이 그린 뛰어난 후스마에(襖絵: 장지문에 그린 그림) 다수 소장하고 있다.